

どうする？ 人材不足の解消方策は……！

今から、2 年後を見据えた対処方策は、これだ！！

ことばの研究室

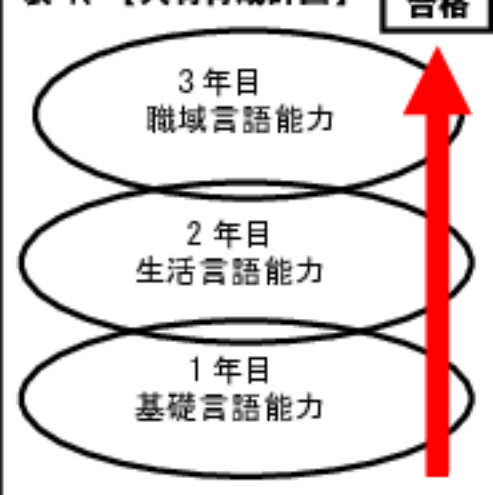
- ※ 弊社には、「人材不足」に関する意見が急増している。以前より「人材の確保」についての相談等は、全国各地からあったが、最近では「人材不足」を率直に訴える声が、増々、増加している。
- ※ 介護分野では、「人材不足のピーク時」として、20 年問題・30 年問題が議論されてきた。しかしながら、現場での実態は、政府や専門家が議論している 20 年問題・30 年問題が、現時点で既に起きていると言わざるを得ない状況が発生している。

- ※ この実状からして、弊社では急遽、「人材不足の解消方策」を本号で取り上げ、現場ですぐできる対処方策の参考になるよう、特集を組んだ。
- ※ 最近の介護分野での新しい話題として上がっていることは、「技能実習生の受け入れ」で、各施設が「どのように対応すべきか」という話題だ。弊社の考えは、「EPA と技能実習生」は、【完全に質的な相違がある】との立場から、サービスの質を落とす技能実習生受け入れには、反対の立場だ。

I、【EPA 受け入れを最低 3 名以上継続的に行い、合格率を 80% 以上にすること】

- EPA 受け入れを行う以上は、在日期間 3 年間だけの人材確保方策として位置付けてはならない。即ち、「短期間の使い捨て人材」の考え方は、一時しのぎの考えで、長期的に観れば、その施設の運営に破綻をきたすことになる。（月報 62 号参照）
- 表 1 は、【人材育成計画】の考え方で、国家試験合格後の定着を図る方策だ。合格後にすぐ離職されたら、受け入れ目的が全て無駄になる。在職中に、確実な定着意識を養わない限り、離職の可能性が非常に大きくなる。
- 施設の将来性は、「毎年受け入れの合格率（80% 以上）によって決定される」ことを、経営者は認識した上で人材確保をする必要がある。なお、多くの経営者の中には「いずれ帰国する者」として捉えて、表面的な教育しか施さずに、実態は「使い捨て人材」として捉えている。経営者が本気で人材育成を考えなければ、人材不足で今後、非常に経営が困難になることを認識すべきだ。

表 1、【人材育成計画】



II、【EPA 受け入れ経費と、他の受け入れ経費との比較結果から、言えること】

- 表 2 は、人材確保の手段を比較した表だ。A の EPA 受け入れは、初期経費が多額となっている。しかし、3 年間の人材が確実に確保できるために、初期費用を 3 年間で割れば、他の B と C に比べて、経費は、決して高いものではない。
- B は、人材派遣会社を通じて、人材確保を行う方法だ。だが、派遣受け入れをした場合には、施設に合わせた再教育が必要だ。そして、派遣契約費と月々の費用を派遣契約が続く限り、支払う必要がある。もし、1 年以内に離職しても、その保証はない。
- C は、広告・宣伝をして、一般から募集をする方法だ。試験や面接等をして採用するが、最近では、応募者の人材の資質が悪いために、期待できる人材確保ができないとの声が多い。
- なお合格後も、施設に定着させれば、有資格者であるために、在日期間は雇用契約を結ぶ限り継続できることが、最も魅力的だ。よって、長期的な人材確保が可能となり、将来は人材計画の骨幹となる可能性が大きいので、経営の安定化に繋がる。

表 2、【人材確保の経費と、手段の比較表】

	A EPA	B 人材派遣	C 一般募集
1、受け入れ諸経費	984,800 円	多種多様	20 万円位
2、教育・訓練費	学習支援金	施設負担	施設負担
3、手数料	202,800 円	月額給与の 1.4~1.5 倍	広告費として 60 万円位
4、在職保証年数	3・4 年間	保証なし	保証なし
5、人材の資質（学歴等）	高い	中程度	高くない
6、資格の有無	無し	有り・無し	無しが多い

- ※ A は、8 の資格が無いが、合格すれば、有資格者となる。
- B は、有資格者を希望しても、必ず確保できるとは限らない。
- C は、圧倒的に無資格者が多い。
- ※ B と C は、将来の経営の安定化に繋がる人材確保の方策とは言えない。特に、B は派遣費用の倍額弱を払い続けることで、その結果、他の職員の人件費より割高となり、経費的に施設の負担増となることがデメリットだ。

Ⅲ、[人口から見た人材確保の困難性が明らかに！]

- 表3 は、H28 年の国勢調査による日本の人口構成実態を表したものだ。高齢者人口は 27.25% 即ち、65 歳以上が 3 人に 1 人になる。また、注目すべきことは、総人口約 1 億 2,693 万人に対して、生産年齢人口は 7,656 万人に過ぎず、その割合は 60.3% となり、生産年齢人口が非常に少ないために、日本社会の生産性の減少の原因ともなっている。
- 即ち、介護施設や病院などのサービス業務を担う年齢層が高齢化し、生産年齢人口より高い人材を確保せざるを得ない実状が表れている。この調査は、H28 年の調査であり、現実には、さらなる高齢化が進んでいることを認識すべきだ。
- このことからすると、特に介護分野では、介護士並びに職員の高齢化が急速に進み、平均年齢が 50 歳を超えている施設が全国的に発生していることを表している。即ち、老々介護の現実化が急速に進んでいることが明白だ。

表 3、(H28 年 総務省国勢調査)

人口 (万人)	総数	男	女
総人口	12,693 72.75%	6,177 (94.8)	6,517
高齢者人口 (65 歳以上)	3,459 27.25%	1,500 (76.6)	1,959
65~74 歳	1,768	842 (91.0)	926
75 歳以上	1,691	658 (63.6)	1,033
生産年齢人口 (15~64 歳)	7,656	3,869 (102.1)	3,788

() の数値は、性比で、女性人口 100 人に対する男性人口を表す。

Ⅳ、[人材不足は、地方と大都市とに関係なく、押し寄せている！！]

A、「全国的な特徴」

- 表 4 と表 5 は、日本の高齢化率を表したものだ。表 4 では H27 年の段階で集約した数値で、最も高齢化率が進んでいるのは、秋田県であることが判明した。反対に、沖縄県は最下位で、高齢化率の低さが現れている。
- 表 4 と表 5 を比較してみると、次の特徴が分かる。高齢化率の一番高い秋田県は、2040 年になっても全国 1 位の高齢化が進む県であること。しかし、その内容は 43.8% もの高齢化率となり、現状より 10% 上回ることが予測されている。
- それに対して、最下位の沖縄県は、2015 年では 19.6% であった高齢化率が 2040 年では、30.3% にも高くなることが注目すべき点だ。このことは、全国の自治体においても、高齢化が約 10% 以上進むことを表している。
- 2040 年の沖縄県の高齢化率は、30.3% が予測されている。このことを 2015 年の高齢化率に当てはめると、10 位である大分県・岩手県とほぼ同じになることに注目すべきだ。即ち、2040 年になれば、全国の自治体において、高齢化率は 2015 年の 10 位である大分県・岩手県並の高齢化が進むことを表している。

表 4、2015 年 (H27) の
高齢化率

順位	県名	(%)
1	秋田	33.8
2	高知	32.8
3	島根	32.5
4	山口	32.1
5	徳島	31.0
6	和歌山	30.9
7	山形	30.8
8	愛媛	30.6
9	富山	30.5
10	大分	30.4
10	岩手	30.4
43	滋賀	24.2
44	神奈川	23.9
45	愛知	23.8
46	東京	22.7
47	沖縄	19.6

表 5、2040 年 (H52) の
高齢化率

順位	県名	(%)
1	秋田	43.8
2	青森	41.5
3	高知	40.9
4	北海道	40.7
5	徳島	40.2
6	和歌山	39.9
7	岩手	39.7
8	山形	39.3
8	長崎	39.3
8	福島	39.3
43	岡山	34.8
44	東京	33.5
45	滋賀	32.8
46	愛知	32.4
47	沖縄	30.3

総務省・人口問題研究所

B、「大都市の急速な高齢化」

- 表 4 では、人口集中県である神奈川県・愛知県・東京都は、44 位から 46 位に占めていて高齢化率の低さを示しているが、表 5 では東京都 (33.5%) が愛知県 (32.4%) を越えて、10.8% もの急速な高齢化が進むことが予測されている。即ち、全国平均 10% の高齢化率よりはるかに高い 10.8% の高齢化が東京都では急速に進むことが分かる。

- 高齢化は、表 4 の実績表、並びに表 5 の予測表からみて、急速に高齢化が現実化していることが判断できる。また、表 3 のように、生産年齢人口の減少は急減して、2040 年では 60.3% から 50% を割る予測がある。このことは、生産する人の割合は、2 人に 1 人だけしかいない状態が日本の将来社会と言える。
- この事態を乗り越えるためには、【人材確保は外国人に頼る他はなし】と強く認識すべきだ。

現場の声

人材不足解消のためにEPAを利用！！

- 秋田県では、人材不足が蔓延化している。人材不足は全国的に同じだとは思いますが、特に、秋田県は激しい。日本人を募集しても一人も来ないのが現実だ。反面、EPAの人材は優秀で、業務の覚えも良いし、短期間だが助かっている。今後も積極的に受け入れていく方針だ。
- なお、技能実習生制度もあるが、EPAとは異なり、教育レベルと日本語能力に問題があると思うので、良質の人材確保ができないと判断している。
(秋田県・K施設)

人材確保のため、初のEPA受け入れ！！

- 当施設では、在日フィリピン人が働いているが、既にヘルパー2級を取得しており、日本語も問題ないので、業務も問題ない。しかし、日本人の有資格者を募集しても、なかなか確保できない。都内は人材の奪い合いとなっており、日本人の人材確保は厳しい状態だ。
- EPAを受け入れることは初めてで、周囲に聞くこともできず、何が必要かすら、現段階では分からない状態だ。人材不足解消のためには、今後、EPAを受け入れるしか方法がないという考えに至っているのが実際のところ。
(東京都・Y施設)

日本人は期待できない 頼みはEPA！！

- 「介護は誰でもできる」という考えで就職してくるような人がいて、間口が広い分、採用時に見極めをしっかりとしなければならないことが重要だ。応募者はいるが、その人材が施設にとって、有益な人材か、そうでないかのレベルで、見極めることが多いのが実態だ。
- 無資格の人が勤める場合は、デイサービスに回して、そこで実務者研修や初任者研修の費用を施設が負担しなければいけない。適切な人材が不足のために、働きながら資格を取得できるようなサポートをする必要がある。
- 施設内では日本人に対しては、教育は行っておらず、市の研修に行かせている。基本的には、有資格者は特養で、無資格者はデイサービスで働くようにして、資格を問わずに働ける環境は作っているが、施設の経済的な負担は大きい。
- 有資格者は、ケアマネージャーやもっと上の資格を目指すように声かけはしているが、本人の意志に任せている。施設としては、質の良い職員を求めているが、期待できないので、EPAが大きな頼みの綱だ。(神奈川県・Y施設)

質の向上のためにも、EPAを活用！！

- ハローワークに出しているが、ここ数年応募はない。募集広告は、広く知れ渡る反面、人材の質が問題だ。色々和学校を訪問しても、生徒に会うことはできないから、職場のOB、OGの卒業校に限り、行っている。技能実習生は、昨年11月から受け入れが開始されているが、来日1年以内でN3を取れなければ、帰国となる決まりがある。さらに、資質の面で問題があると考えているので、採用しない。
- それに対し、EPAは身元と資質がはっきりしており、施設の要員数に加算できるため、とても助かっている。当施設の方針は、職員の資質を下げないためにも、EPAで人材確保をしていく方針だ。
(神奈川県・T施設)

広告募集をしても、戦力は得られず！！

- ハローワークに出しても、反応はない。また、ネットで募集をしても、経費がかかるだけで人材確保ができず、手数料だけを払うことになってしまい、効果がない。仮に、反応があっても、人材の質が悪くて、短期間で辞めてしまう人が多い。
- その点、EPAは最低3年間働くので、人材不足を補う点では、安定した方法だ。しかし、EPAも人員の枠が決まっており、施設間での取り合いとなっている。当施設では、病気や結婚、人間関係で、国家試験を受ける前に既に3名の帰国者がいる。
- 国家試験で不合格の帰国は仕方ないが、受験前に帰国する人に対してのペナルティがないのは、制度として問題なのではないだろうか。さらに、合格後の最低3年間は、受け入れ施設で働く義務をつけるべきだ(神奈川県・S施設)

日本人に頼らず、EPAで人材確保！！

- 当施設では、慢性的な人材不足に危機感を抱いている。ハローワークに出しても、何をやっても日本人は集まらない。この人材不足を解消するためには、「外国人の助けを借りるしかない」と、施設全体が考えている。
- 人材不足解消策のために、EPA制度を使い、毎年2名ずつ受け入れている。必ず国家試験合格をさせるために、学習支援金を使い、【到達試験】に参加して、日本語力を身につけさせている。幸い合格者は家族を呼び寄せて働いている。日本語力も十分身につけているために、日本人以上の戦力となっている。今では合格者が当施設にとっては、本当に欠かせない人材となっている。(広島県・M施設)

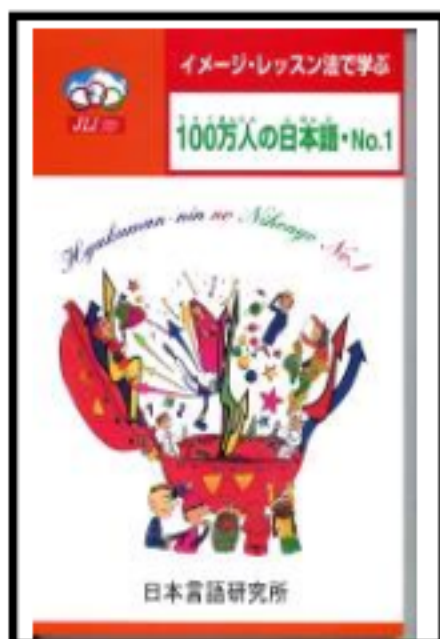
自学能力を養うための 適切な教材！！

- ① 視覚的に学べる ② 日本語の「規則性と用法」が学べる
- ③ 漢字も類推して読める ④ ストーリー性があり、体系的に作られている

EPA学習支援
スカイプ・教材の無い会館
ことばの研究社
電話：086-431-3481
FAX：086-431-3482
岡山県倉敷市庄新町 9-4-12

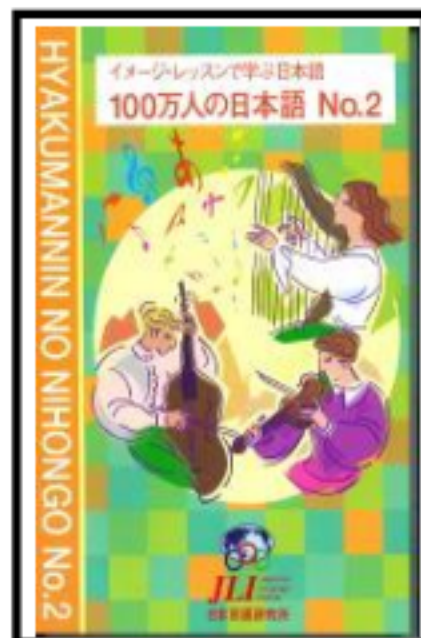
学習支援 主教材

基礎言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.1」】
ひらがな・基本漢字の習得とともに、全ての言語活動の基本となる概念を形成し、名詞文・存在文・普通動詞文を無理なく学習できる構成となっています。(2805円)

※ 習得漢字数 310 字～620 字
※ 習得語彙数 520 語～1560 語



【テキスト「100万人の日本語 No.2」】
会社や学校、家庭内などあらゆる場面における会話を中心に構成され、社会生活に必要な抽象語を理解しながら、性別や立場による言葉の使い分けを習得できます。また、形容詞文学習により心情・語感表現力の基礎を築きつつ、各ページのコーナーで日本語のあらゆる規則性と用法を自学できます。(2805円)

※ 習得漢字数 420 字～840 字
※ 習得語彙数 570 語～1,710 語

生活言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.3」】

日本社会に適應できる人間関係を理解して、目上の人に対する礼節を保つ表現力が身につきます。
論理的に文を組み立てた長文が書けると同時に、漢字熟語を使った要約文を書けるようになります。
仕事に関連する語彙を自分で辞書を引いて調べることができます。(3,200円)
※ 習得漢字数 850 字～1,700 字
※ 習得語彙数 1,110 語～3,330 語

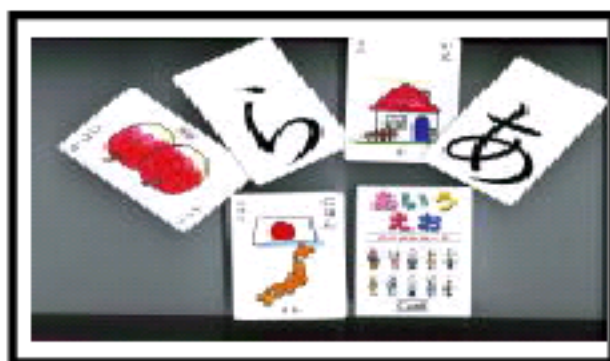
使ってみてビックリ！

教育効果の高さ

学習支援 副教材

基礎言語能力レベル

職員の手が掛からずに、
受験者だけで勉強できる教材



表面にはひらがな文字が一文字ずつ書かれており、裏面にその文字を使った語のイラストが色彩鮮やかに描かれています。

イラスト面には「ひらがな・カタカナ・漢字」の3種類でその言葉が表記されており、学習者が文字を比較しながら自学できるつくりになっています。基礎教育の日本語学習者に最適な内容になっています。

(1,155 円)



ひらがな文字の自学に最適な教材です。字形、書き順などの練習だけでなく、全ての日本語の基礎となる「しつもとこたえ方」に絶対必要な発話方法を、身近な事例を使って学習できるようになっています。社会生活に必要な最低限の語彙も同時に習得し、定着できるように作られています。

(1,980 円)



『100万人の日本語 No.1』に沿った構成となっており、文型・成文の習得をしながら効率的に漢字の読み書きが習得できるようになっています。

非漢字圏の学習者が漢字習得をする上で最適。

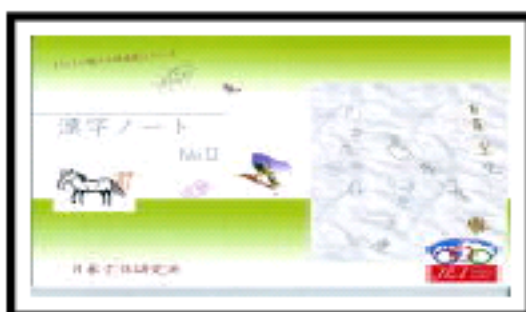
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

生活言語能力レベル



カタカナ語彙を使った場面を表すイラストが各ページにあります。このノートは説明文と会話文が織り成されてされています。この場面を紹介する文は、外来語の理解とその育出し練習をしながら、練習問題によって読解力と文型の応用力を養えるようになっています。

(1,496 円)



『100万人の日本語 No.2』に沿った構成となっており、漢字習得と成文練習のみならず、読解力も同様に養えるように作られています。

漢字の「へん・つくり」の付録もあって、漢字の成り立ちに対する理解ができる内容となっています。

非漢字圏の学習者が漢字を習得する上で最適。

また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

◎ 到達度試験Aコース(独立型)

ことばの研究社

<自学能力養成型コース>

【一年目 到達度試験 初回レベル～Dレベル】

※ 【自学能力】を養うことを目的としたコースです。
言語能力は、日本人の中学2年生までの能力に達するようにプログラムされています。

※ 【自学能力】を養う教材を使用

主教材 ・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材 ・ひらがな絵かきと (瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と (構文力育成用)

・カタカナノート (説明文・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1 (基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2 (熟語漢字習得育成用)

・手渡し教材随時

【二年目 到達度試験 Eレベル～国試3レベル】

※ 日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。そのため、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文書で解答できる能力が育成できます。

※ 主教材 ・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【三年目 スカイク授業 5回(1回2時間)】

※ 日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

※ 主教材 ・専門参考書

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【指導内容】

① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書提出し、現場の指導に役立てます。】

※ 【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※ スカイク授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※ ※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一 年 目	★基礎言語能力の育成 ①日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。 ②1,755語の基本漢字が習得できて、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。 ③会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。	●日本語能力を養う ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで、できるようになる。 ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できるようになる。 ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができるようになる。 ④簡単な業務日誌が書けるようになる。
二 年 目	★生活言語能力の育成 ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。 ②仕事を自主的に行い、責任を持って業務を遂行する能力を養う。 ③日本語力を高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。	●国家試験受験能力を養う ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えられるようになる。 ②専門用語の漢字を「類推して読解」できるようになる。 ③自学で「過去問」ができるようになる。
三 年 目	★職域言語能力の育成 ①日本語を使った「業務実践力」を行える能力を養う。 ②会議等で意見を発言し、内容把握ができる能力を養う。 ③要約力を養い、会議等で的確なメモをとれる能力を養う。 ④日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養う。	●国家試験合格能力を養う ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できるようになる。 ②日本事情の専門知識を体系的に把握して読み理解できるようになる。 ③マークシートの解答ではなく文書による解答ができるようになる。

◎ 到達度試験Bコース(併用型)

< おまかせコース >

【一年目 到達度試験(初回~Dレベル)+スカイプ】

※【自学能力】を養える【到達度試験】と対面教育ができる「スカイプ授業」を併用しています。

日本人の中学2年生までの能力に達するプログラムで、特に、正しい会話力が身につけられるコースです。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材・ひらがな絵カード(瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と(構文力育成用)

・カタカナノート(説明・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1(基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2(熟語漢字習得育成用)

【二年目 到達度試験(E~国試1レベル)+スカイプ】

※日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。

スカイプ授業併用型なので、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文章で解答できるようにプログラムしています。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【三年目 到達度試験(国試2,3レベル)+スカイプ】

※日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

日本人の職員と同等に業務ができるまでの能力に達するように、プログラムしています。

また、国家試験合格後でも、同じ職場で働く意欲を養うことも目的としています。

※主教材・専門参考書

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【指導内容】

①職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

②類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書を提出し、現場の指導に役立てます。】

※【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※スカイプ授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※※価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一
年
目

★基礎言語能力の育成

- ①スカイプ授業を併用するために、対面学習で、適切なプロの指導が受けられる。そのために、確実な日本語力が養える。
- ②日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。
- ③1,755語の基本漢字を習得でき、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。
- ④会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。

●日本語能力を養う

- ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで到達できる。
- ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できる。
- ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができる。
- ④簡単な業務日誌が書ける。
- ⑤スカイプ授業は、受験者の表情を教師が読み取れるので、「本当に理解しているか、どうか」が判断でき、確実な言語能力がつく。

二
年
目

★生活言語能力の育成

- ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。
- ②仕事を自主的にやり、責任を持って業務を遂行する能力を養う。
- ③日本人の高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。
- ④日常会話力が支障なく使える能力を養う。

●国家試験受験能力を養う

- ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えることができる。
- ②専門用語の漢字を「類推して読み、意味理解」できる。
- ③自学で「過去問」を解ける。
- ④スカイプ授業併用型なので、問題・疑問が、その場で解決できる。

三
年
目

★職域言語能力の育成

- ①業務の実践力を養う。
- ②会議で意見を発言して内容把握でき、メモをとる能力を養う。
- ③話の内容を的確に、まとめる能力を養う。
- ④日本人社会人と同等レベルの言語能力を養う。
- ⑤スカイプ授業なので日本人感覚の「語感・語調」を、正しくプロの教師が養う。

●国家試験合格能力を養う

- ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できる。
- ②日本事情の専門知識を体系的に把握して、読み理解できる。
- ③マークシートの解答ではなく、文章による解答ができる。
- ④専門語彙と専門知識を自学できる。

【 国家試験受験能力到達度試験の特徴 】 EPA学習支援 こぼの研究社

【国家試験受験能力到達度試験】の特徴は、自学能力を養い、言語技能が並行的に伸び、受験者の対応能力が養えます。 教育効果は介護分野では、国家試験合格者を **3年間連続で、80%以上の実績を誇っています。** また、看護分野でも、EPA受験者全体の合格率が10%前後に留まっているのに対して、【到達度試験参加者】の合格率は、**55%**と高い水準を保っています。

これは、**受験者全体の合格率10%の5倍の高さ**を示しており、驚異的な合格率といえます。

※ 本試験は、あくまでも、専門領域で社会人として働ける能力を養うことを、重要視した学習方法です。

さらに、受験者が日常の業務の中で、日本人職員とのコミュニケーション能力をも身につけることができるために、介護施設や病院などで実践力のある要員として、育成することを目的としています。

※【到達度試験参加者】には、定期的に試験結果を「考察票」でお送り致します。「考察票」には、指導者用のために、具体的な指導方法を記しておりますので、安心してご指導頂けます。

レベル	合格基準	特徴	技能の種類	合格
3段階	75 % 専門学校卒の 言語能力	※ 国家試験に対する合格力と知識力を養う ◎ 国試問題に対する「文脈読解」と「要約力」 に対応できる学習をさせる。	★ 5 技能 ・ 瞬時反応 ・ 文脈読解力 ・ 要約力など	職 域 言 語 能 力 を 養 う
2段階	90 % 専門学校 2 年 の言語能力	※ 専門知識の活用力を養う ◎ 国試過去問を使った「漢字専門用語」（漢字 熟語）と「文脈読解力」に対応できる学習を させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応 ・ 漢字熟語力 ・ 文脈読解など	
1段階	90 % 専門学校 1 年 の言語能力	※ 専門知識の運用力を養う ◎ 国試過去問を中心とした問題で「読解力」 （語彙力・文意力）に対応できる学習をさせる。	★ 3 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	
F段階	85 % 高校 3 年の 言語能力	※ 専門領域の基礎力を養う ◎ 介護・看護の基礎知識を基に具体的な事例で 学習させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	生 活 言 語 能 力 を 養 う
E段階	80 % 高校 1 年の 言語能力	※ 日本語の「規則性と用法と運用力」を養う ◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 運用力が身につく学習をさせる。	★ 9 技能 ・ 文読解力 ・ 図読解力など	
D段階	75 % 中学校 2 年の 言語能力	◎ 日本語の用法を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 対応力 ・ 要約力など	
C段階	70 % 小学校 6 年の 言語能力	◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文脈力 など	基 礎 言 語 能 力 を 養 う
B段階 N2レベル	70% 小学校 4 年の 言語能力	※ 日本語の基礎知識を養う ◎ 日本語を表現するために必要な「基礎的な 知識とその使い分け」ができる能力を中心 として学習させる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 読解力など	
A段階 N3レベル	75 % 小学校 3 年の 言語能力	・ 構文力・読解力・文字（ひらがな・カタカナ・ 漢字）・助詞・接続詞の使い分けなど。	★ 13 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文字認知力 ・ 読解力など	
初回		受験者の現状の日本語能力を観る。		